

韓国における多文化家族と 結婚移民のための支援政策

2010. 10. 2

Cho, Hwa Sung

Research Fellow at CWPDI



충청남도여성정책개발원
Chungcheongnam-do Women's Policy Development Institute

もくじ

I. はじめに

II. 多文化家族の現在の状況

III. 結婚移民のための支援政策

IV. まとめ



I. はじめに

- 2005年以降、韓国における移民の数は明確な増加傾向を示しており、その要因となっているのが女性の結婚移民である。
- 最近の移民増加を引き起こしている3要因
 - 新しいタイプの国際結婚
 - 移住者一本化に向けた政策の変更
 - 国際結婚ビジネスの成長



I. はじめに

- 政策課題としての‘多文化家族’
 - ・ ‘多文化家族’とは、
韓国人と外国人の国際結婚を通じて生まれた
新しい家族形態
 - ・ 国際結婚の増加>>>より多国籍な人口構成へ
 - ・ 地域社会における多文化家族のための支援事業



I. はじめに

- 現在の政府の政策の検討
 - ・ 多文化家族のための政府の政策は、「多文化政策」といえるだろうか？
 - ・ 定住外国人女性のための支援プログラムは差別的な扱いではないか？
 - ・ 韓国人の考え方は、多国籍、多文化へと向かっているのだろうか？



Ⅱ. 多文化家族と現在の状況



1.多文化家族の統計データ

- 登録外国人の総数

(単位:人)

総数	外国籍市民	韓国籍市民	子ども
1,139,283	920,887 (80.8%)	96,461 (8.5%)	121,935 (10.7%)

出典:行政自治部(2010年1月1日)

- 韓国の総人口に占める登録外国人の割合は2.3%



1.多文化家族の統計データ

- 在留資格別の在韓外国人人数

(単位:人)

総数	外国人労働者	結婚移民	学生	海外在住韓国人	その他
920,887	558,538 (49.0%)	125,087 (11.0%)	80,646 (7.1%)	50,251 (4.4%)	106,365 (9.3%)

出典:行政自治部(2010年1月1日)



1.多文化家族の統計データ

- 多文化家族のコンセプト: 韓国人が外国人と国際結婚して形成される新しい家族のかたち。
- 他の移住者と比較すると、
女性[○]の結婚移民は、国内に永住し、韓国人の子どもを産むということから、重要な政策目標となった。

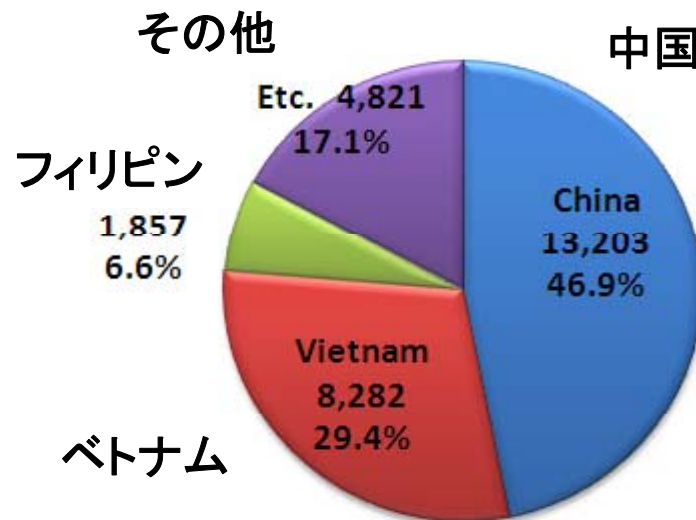


1. 多文化家族の現状と統計データ

- 結婚移民の国籍内訳

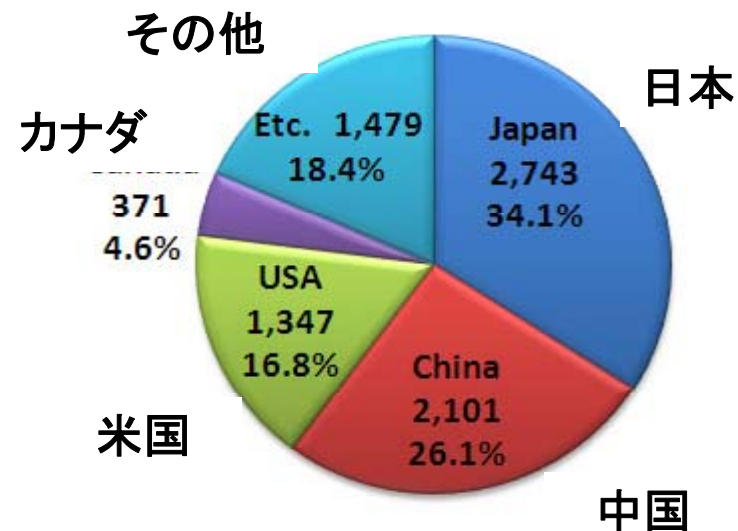
女性移民の国籍内訳

(単位:件)



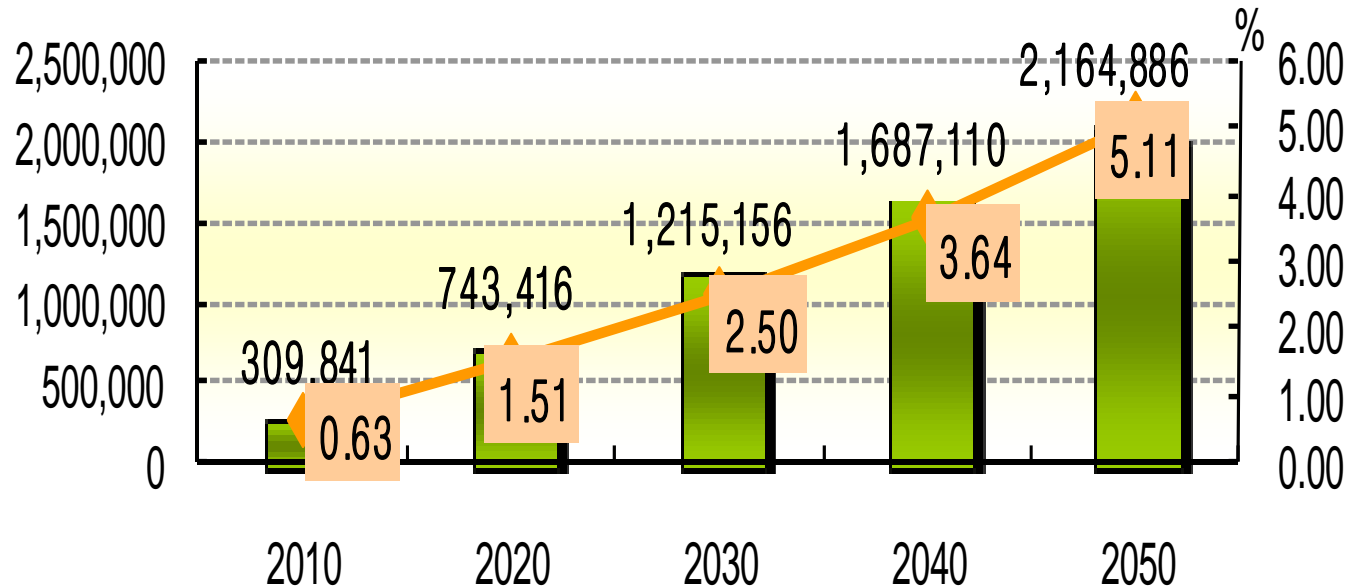
男性移民の国籍内訳

(単位:件)



1.多文化家族の統計データ

- 総人口に占める結婚移民の割合—長期予測



棒グラフ:結婚移民の数(単位:人)

折れ線グラフ:総人口に占める割合(単位:%)



1.多文化家族の統計データ

- 出生率の低下、高齢化、グローバル化等の原因から、結婚移民の増加傾向は今後も続くものと見られる。
- 2050年には、結婚移民とその子どもが韓国の総人口に占める割合は5%を超えると予測される。これは韓国社会が多文化社会になるということの意味する。



2. 結婚移民の窮状と課題

- 国際結婚プロセスにおける人権侵害
 - ・ 結婚仲介業者による結婚の商業化



2. 結婚移民の窮状と課題

- お見合い: 韓国人男性が多いベトナム人花嫁候補の中から選ぶ
- 配偶者を選ぶ権利は韓国人男性にのみある
- 結婚相談所に後押しされ、たった2時間で配偶者を決める



2. 結婚移民の窮状と課題



- 合同結婚式: お見合いの次の日
- ベトナムでの挙式後、3~4日の新婚旅行
- 誤った情報と短期に決定される結婚が、多文化家族内でもめごとや離婚の原因となっている

2. 結婚移民の窮状と課題

- 家庭生活における不和、社会疎外、社会の偏見
 - ・ 異文化間コミュニケーション不足と家庭生活における不和
 - ・ 所得の低さと職業訓練への参加不足:
家庭における月平均所得が、100万ウォン～200万ウォンの層は人口の38.4%、100万ウォン以下の層は21.3%
 - ・ 多文化家族に対する差別的な扱いと偏見



2. 結婚移民の窮状と課題

- 育児と教育の問題
- 多文化家族の子どもの言語能力と認識能力の遅れ
- 外見や話し方の違いが原因で起きる、学校や社会での差別的な扱い



Ⅲ. 結婚移民のための支援政策



1. 韓国政府の多文化政策

- 人生の各段階に沿った政策
 - ・ 結婚準備期
 - ・ 家庭形成期
 - ・ 育児期
 - ・ 子どもの教育期
 - ・ 多文化家族の能力強化期
 - ・ 家族が崩壊した場合
 - ・ 人生のすべての段階に関して



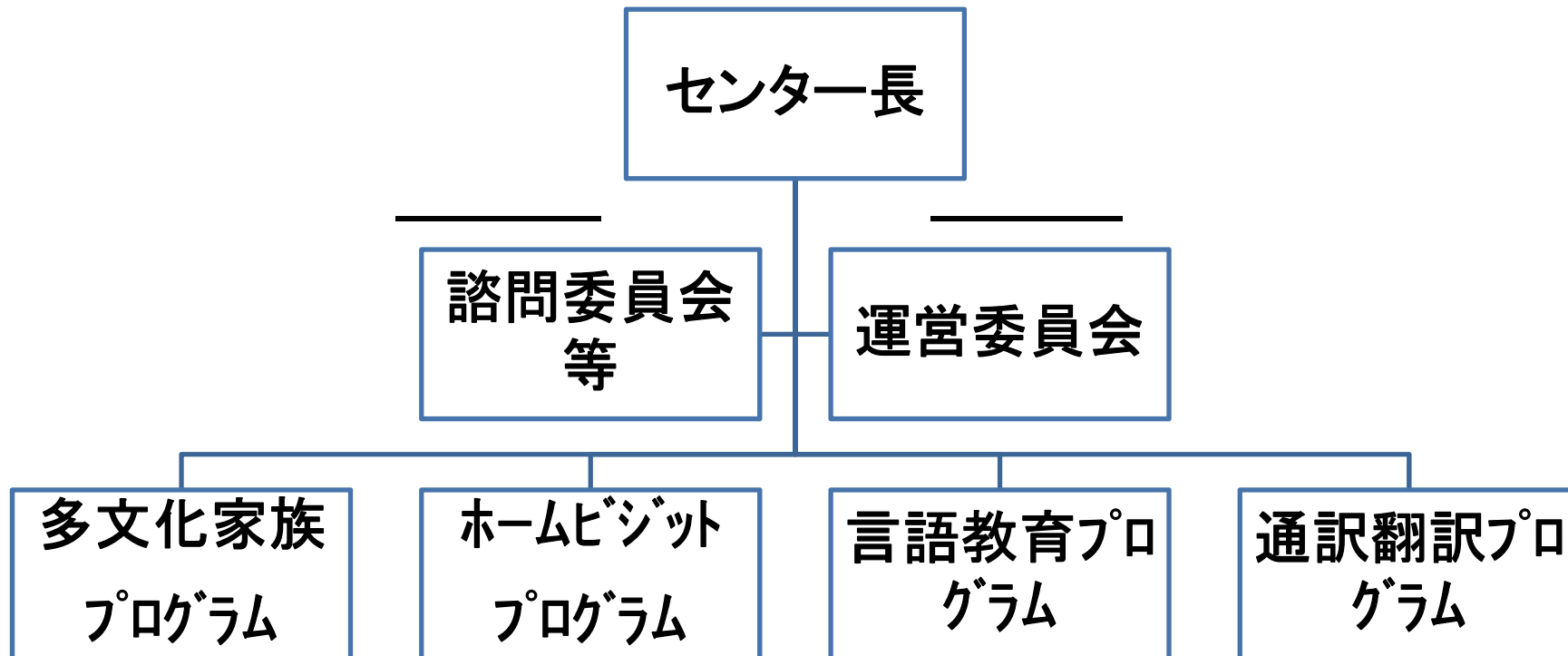
2. 地方政府による対策：忠清南道

- 外国人労働者の韓国社会定着のための支援事業
- 登録外国人の生活実態に関する調査
- 多文化家族支援センターの設置と運営
- 多文化家族を対象にした家庭訪問教育プログラム
- 多文化家族の乳幼児の養育費の支援
- 結婚移民のための通訳・翻訳サービス
- 多文化家族に対する法律相談
- 多国籍・多文化フェスティバルの開催
- 多文化政策委員会の設置
 - ・多文化政策の審議機関として



3. 多文化家族支援センターによるプログラム

- 多文化家族支援センターの組織



3. 多文化家族支援センターによるプログラム

- 多文化家族支援センターによるプログラム

- 基本プログラム

 - 韓国語教育、家族統合および多文化理解教育、多文化家族の雇用および起業支援

- 特別プログラム

 - バイリンガル学校、通訳・翻訳サービス、相手国の両親や通訳・翻訳者のためのミーティングなど



3. 多文化家族支援センターによるプログラム

- 多文化家族支援センターによるプログラム

- ・ 家庭訪問プログラム

韓国語教育, 妊娠出産サービス

- ・ 子育てに関するインフォメーションセンターの運営、多文化家族のボランティア活動、市民間での多文化理解の向上、定住外国人女性の地域社会ネットワークの強化、



3. 多文化家族支援センターによるプログラム



- 多文化家族の子どもからなる、レインボーコーラス
ベトナム訪問公演



3. 多文化家族支援センターによるプログラム



3. 多文化家族支援センターによるプログラム



- 多文化料理の紹介



3. 多文化家族支援センターによるプログラム



- 韓国語教育; 紙人形作り

3. 多文化家族支援センターによるプログラム



3. 多文化家族支援センターによるプログラム



- クラブ活動; 幼稚園でおとぎ話の読み聞かせ

3. 多文化家族支援センターによるプログラム



- クラブ活動; 韓国の伝統文化、扇子の舞

3. 多文化家族支援センターによるプログラム



- 職業訓練； 理美容



3. 多文化家族支援センターによるプログラム



- 農業活動、芋掘り



IV. まとめ



1. 韓国の多文化政策の特徴

- 同化政策か多文化容認政策か？

- 同化か多文化容認かの二分法では実情に対応できない
- 韓国の移民政策を正確に定義すると、同化政策と多文化政策を合体させた社会統合政策である

- 平等 or 家族主義？

- 結婚移民は締め出されるというより、地域社会の住人として受け容れられている
- 移民を受け容れることは、家族主義に基づいているようにみえる
- 韓国人男性がもちうる結婚の選択肢と韓国人家族の再生



2. 将来の展望に向けて

- 政策の変更

- ・ 支援プログラムから経済的自立へ（雇用、職業訓練）
- ・ 多文化家族の子どもを、グローバル人材として育てる
- ・ 家族構成員間での多文化コミュニケーションを強化する

- コリアンドリーム実現のために

- ・ 平等なチャンスが与えられるアメリカンドリーム
- ・ 平等な待遇が欠如しているコリアンドリーム
- ・ 地域レベルでの市民と外国人住民間の多文化交流の必要性



ありがとうございます。

